

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	イオンリテール株式会社					
代表者名	氏名	井出 武美	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目5番地1					
主たる事業の分類	大分類	I 卸売・小売業				
	中分類	56 各種商品小売業				
主たる事業の概要	各種商品小売（衣料品・食料品・住居余暇品）					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	11190	10854	11186	11438	
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	22630	21951	22702	23166	
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	
自動車の台数	台	12		12	12	
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	10				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	平成 28 年度	計画期間	平成 29 年度～ 平成 31 年度
報告対象年度	平成 30 年度		

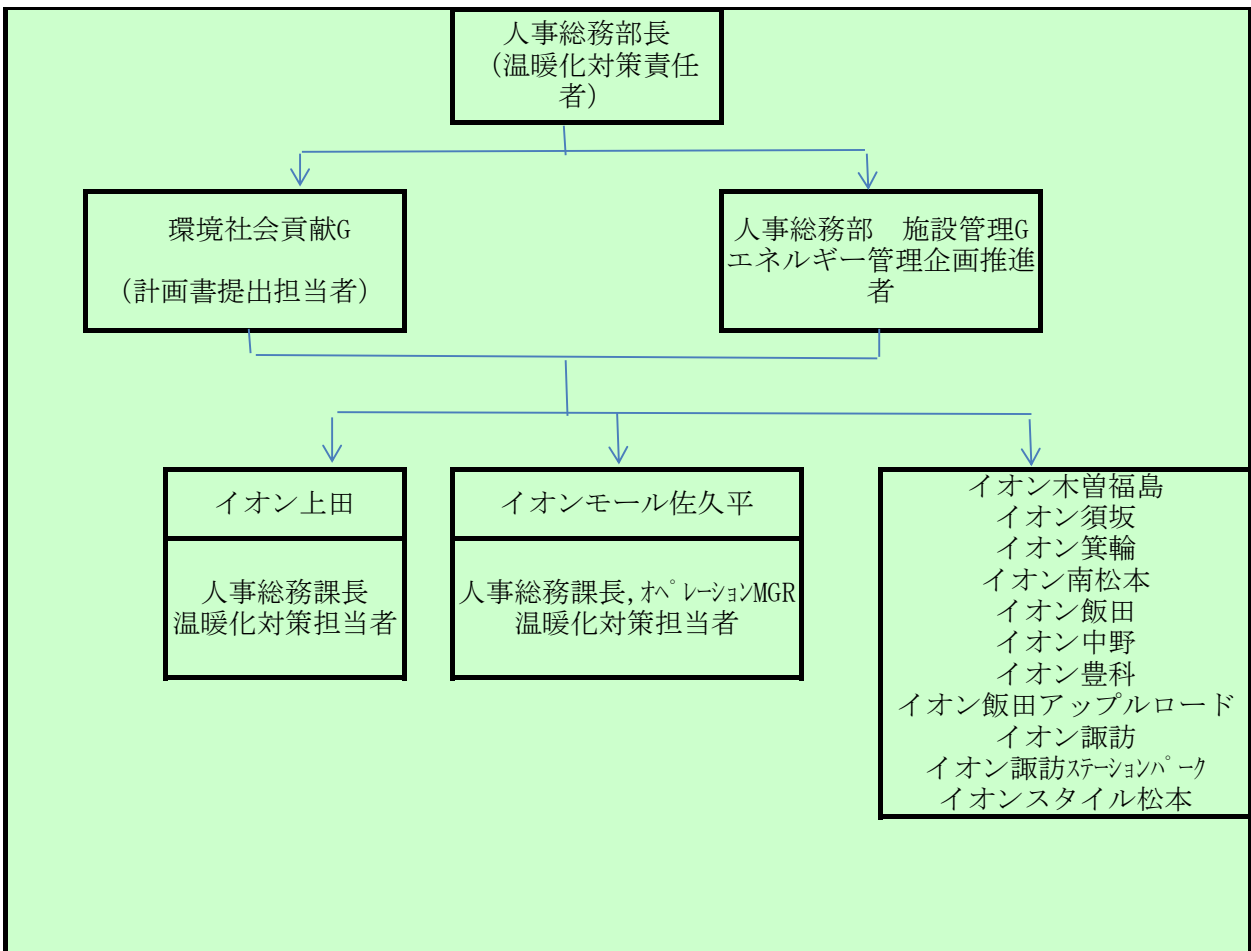
3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	各店舗サービスカウンターにて公開
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

当社は、イオングループとして、CO2排出量削減に向けて、LED照明の切り替えや太陽光パネルの設置等環境負荷の少ない店舗づくりや、環境に配慮した商品の取扱いを、推進していきます。また、お客さまとともにエコバックの推進しレジ袋削減等省資源活動にも取り組んでいきます。

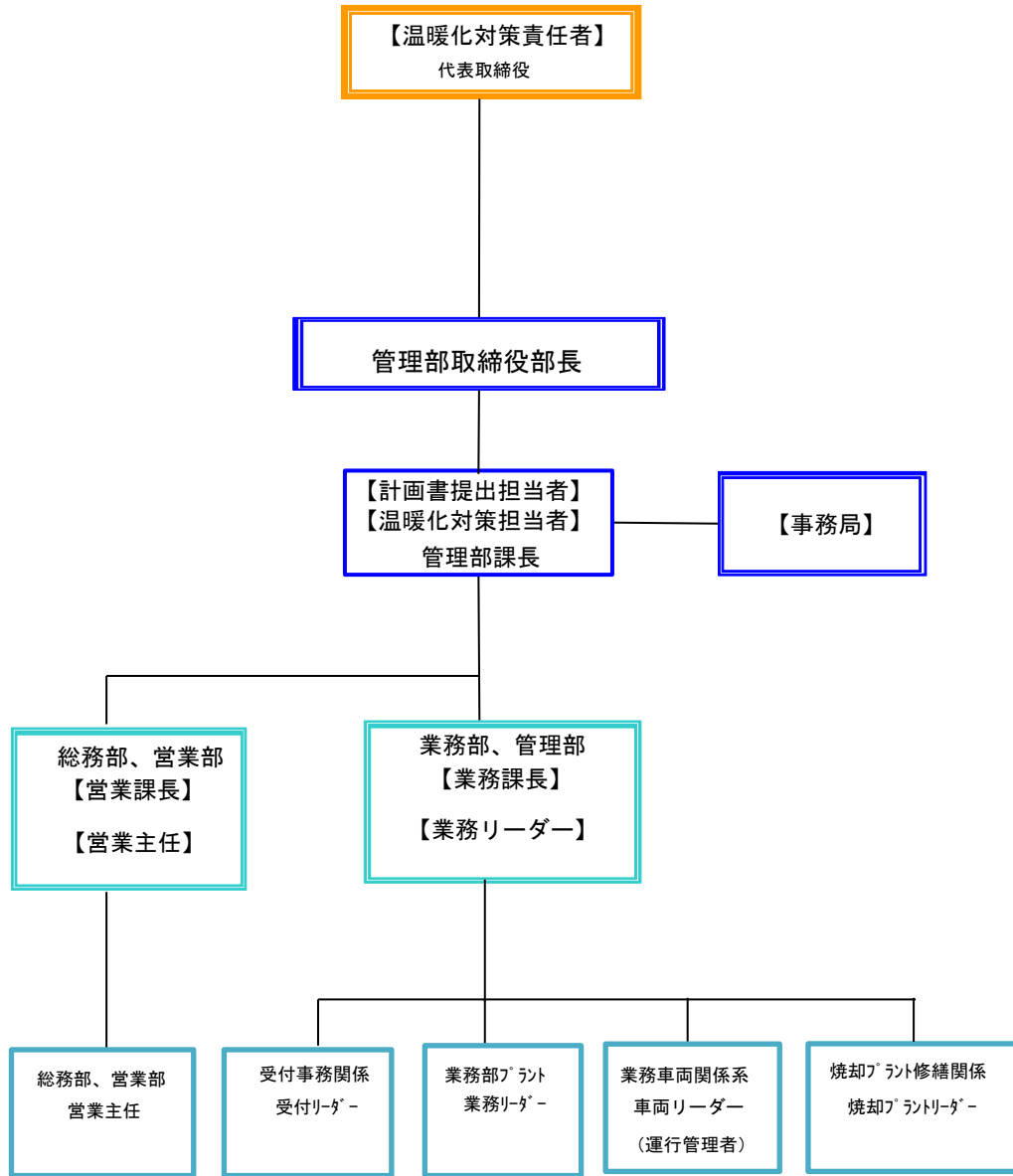
5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

年4～5回開催 環境社会貢献担当者会議

温室効果ガス排出抑制組織



様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	22,630	t-CO ₂	延床面積(百万㎡)×営業日	70.13	単位	百万㎡×日	
28年度	調整後排出量	22,472	t-CO ₂	基準原単位	322.69	t-CO ₂ /	百万㎡×日	
目標年度	目標排出量	21,951	t-CO ₂	目標原単位	312.62	t-CO ₂ /	百万㎡×日	寄与度の合計から求めた目標削減率※
31年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.12	%		
目標設定に関する説明	1年で1%削減目標のため、3年で3%削減を計画致しました。							※事業の内容により単一の前単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	22,702	t-CO ₂	延床面積(百万㎡)×営業日	96.03	単位	百万㎡×日	
	調整後排出量	22,505	t-CO ₂	原単位	236.41	t-CO ₂ /	百万㎡×日	寄与度の合計から求めた実績削減率※
29年度	削減率	(0.32)	%	削減率	26.73	%		
排出量等の増減理由	延床面積イオン松本店開店より増加を考慮しても削減している。ただし松本店の排出量は6か月になっている。イオン全店にて実施しているISOからムダな電気を使用しない運動を実施している。たとえばエアコンの設定温度28度、後方の人のいなきは消灯する(消灯カードを付けている)等							
第二年度	排出量	23,166	t-CO ₂	延床面積(百万㎡)×営業日	95.11	単位	百万㎡×日	
	調整後排出量	23,003	t-CO ₂	原単位	243.57	t-CO ₂ /	百万㎡×日	寄与度の合計から求めた実績削減率※
30年度	削減率	(2.37)	%	削減率	24.51	%		
排出量等の増減理由	昨年夏季の酷暑により熱中症対策として館内温度を27℃以下に維持する為に空調機の設定温度の引き下げ、稼働時間の延長を実施。10月以降については削減傾向にあったが夏場の電気使用量が大きく影響。 9月にイオン諏訪ステーションパーク店オープン。 8月にイオン諏訪店閉店。							
第三年度	排出量	0	t-CO ₂	面積(百万㎡)×営業日		単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率※
年度	削減率	100.00	%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	10	t-CO ₂			
年度						
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		状況	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	380752 LEDの導入(イオン上田店)			29	
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	158		197	163	
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	2	7,138	2	6,890	2	6,954		
1,500k1未満	9	15,492	10	15,812	11	16,212		
合計	11	22,630	12	22,702	13	23,166		

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	
CH ₄	0	0	0	
N ₂ O	0	0	0	
HFC	0	0	0	
PFC	0	0	0	
SF ₆	0	0	0	
NF ₃	0	0	0	
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数、導入計画及び実績 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)				
合計	0	0	0	0
自動車総数	12	12	12	
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援状況

区分	内容
中小企業への省エネ診断	なし
その他	

1.5 交通対策状況

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	なし
公共交通機関の利用促進	従業員に関しては、公共交通機関が使えない場合のみ、マイカー通勤可
来客者の交通対策	ホームページでご案内有
物流の合理化	専門部署で実施

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	ISO14001	2000年
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	店舗緑化、上水使用料の削減、イオンチアーズクラブによる環境教育、環境に配慮した製品の導入（トップバリュ）、輸送段ボールの削減（コンテナ導入）
第一年度実績	基準年度と同じ
第二年度実績	基準年度と同じ
第三年度実績	

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量 (tCO ₂)
基準年度以前の取組み	第一期削減計画（長野県地球温暖化） 店内の照明の大部分はLED化されているが、まだLED化されていない照明のLED化を進める	1872
その他		